

news 88

第8号

2001年7月

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)
FAX 03-3866-2222 http://www.prima-gakki.co.jp/

札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

ピアノを教えるワンポイント
テツコさんもピアノが弾ける(最終回)

◎テツコさんがミドルエージだったら



作曲家・ピアニスト **伊能美智子**
ミドルエージとは第二の青春を謳歌する中高
齢者のこと。この年代でピアノを習う方が増えて
いるのは今まで無かった現象で、教えるほうも手
探り状態のようです。というも従来のピアノの教え方は人の
一生のほんの一時である成長期の子供を主な対象にしていま
した。この連載にしても十五歳のテツコさんならいくらでも練習す
るようになど書かせて頂きました。ところが今回のテツコさん
は既に立派な大人です。但し成長期の子供と決定的に違うところは
身体機能が衰え始めていることで、見た目は元気そのものでも、
実は眼がかすんで楽譜が読み辛い、耳が遠くなって音を取りにくい、
たくさん練習すると手が痛くなる、指が思うように動かない、
先生のご注意を右から左へ忘れてしまう等々、これ迄できたこと
ができなくなる悩みを沢山抱えています。

このようなテツコさんに子供と同じ対応をするわけにはいきま
せん。かといって相手を識ろうにも大抵の場合先生がまだ体験し
たことのない世界です。子供なら通ってきた道で理解可能ですが、
年長者の場合は想像するほか仕方ありませんものね。

ただ子供と違うのはピアノのレッスンを選んだのは他ならぬ
自分自身。人生を充実させる手段の一つとしてピアノを始めたの
ですから、それなりに弾けるようになればいい、楽しめればいい
のです。その点に関するミドルの覚悟は確固たるものですから、
先生はひたすら気楽な遊び相手としてつき合っただけのレッス
ンのポイントでしようね。さて4回に亘って各年令層別にレッ
ソンのワンポイントをお話しして参りました。リスナーとして第
一步を踏み出される先生方に少しでもお役に立てましたであらう
か。

伊能美智子プロフィール

東京女子大学卒。国際基督教大学に暫時学んだ後大阪音楽
大学ピアノ科卒。ピアノを故井口基成氏ほかに師事。桐朋学
園大学ピアノ科講師(非)を勤めた後渡米、帰国後発表会の
場を提供する会「MIK」を主宰。音楽を志す人たちに発表の
場を提供する一方、作曲、演奏、作詞、著作、講演活動中。
MIKは本年25周年を迎え、リサイタル、コンサートの出演者
は延べ2,000人を超える。

作曲作品には小倉百人一首をテキストに歌曲合唱曲117
曲、一人オペラ「マクベス」、ピアノトリオ「郷愁」ほか、
著作品に「ピアノ学習の基礎」「もっと楽しいピアノ・レッ
スン」「ショパンが弾けた!」「リスナーのためのピアノの教
えかた」「ピアノ・レッスンQ&A」「ミドル・エージのため
のピアノ・レッスン」(以上春秋社刊)、教材楽器「校訂楽譜
“新編こどものソナチネ”全4巻」「編集著“こどものポリフ
ォニー”全3巻」(以上学習研究社刊)など、ほかに音楽之
友社から歌曲集、合唱曲集を出版。作品CD4枚リリース。

今月のNEWSな 楽譜 & グッズ

★全音楽譜出版

◎モーツァルト・ピアノソナタ演奏の手引き

ヨセフ・ブロッホ/中村菊子/木幡律子 共著

B6判 192頁 定価 1600円+税

内容：モーツァルトの18曲のピアノソナタ全楽章の分析を網羅
豊富な譜例と的確な解説で学生や教師のレッスンから
演奏家の楽曲研究まで幅広いニーズに応えます。

★サーベル社

◎子供のための導入テキスト ぴあのくらぶ5

～楽しく両手で弾きましょう～遠藤蓉子著

判型 菊倍 56頁 定価 本体1200円+税

内容：シリーズ仕上げの第5巻。楽しみながらこれまでの成果を発
揮出来る。

◎子供のための導入ワークブック おんぶくらぶ 5

～たのしくおんぶをおぼえましょう～

遠藤蓉子著 判型 菊倍 56頁 定価1000円

内容：子供のための導入テキストぴあのくらぶ5に対応したワーク
ブック。シリーズの総まとめとしてゲームのように楽しく学ぶ。

★音楽之友社

発表会用名曲集 こどものピアノワールド 4

定価1200円+税 7月下旬発売予定

◎表情豊かなピアノ・レッスン ケース・スタディ別

定価1500円+税 7月下旬発売予定

★春秋社

◎ショパンとパリ 河合貞子著

四六判上C・232頁 予価2200円 7月下旬

内容：楽譜だけからは得られないショパン解釈の重要なキーポ
イントを提示。

★ドレミ楽譜出版

◎これでだれでもピアニスト ほんとはじめてのピアノ曲集

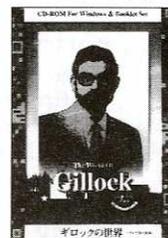
定価1000円+税 7月中旬発売予定

★レイシスソフトウェアサービス

◎ギロックの世界

CD-ROM・ブックレット付き

定価4980+税



★東音企画(バスティン)

◎KP1Jおとなのためのピアノ教本1

(CD付き) 本体4500+税

◎KP1BJおとなのためのピアノ教本1

(CDなし) 本体2800+税

内容：ピアノを楽しむための基礎づく
りを大事に、きめこまやかな説明がさ
れています。



news88スペシャルクイズ

news88が創刊されてより今回で第8号に
なります。日頃の御愛読を心より感謝い
たしますとともに、クイズによりささや
かなプレゼントを用意致しました。ふる
って御応募下さいませよう、よろしくお
願い申し上げます。

問題

「news88」の88の意味は、
次の3つのどれでしょうか?

1. news88の創刊さ
た1988年より
2. ピアノの鍵盤数
3. 日本人男性の平均
寿命

景品

- | | |
|--|----|
| ミハイル・プレトニョフCD
(今月号のNEWSなCDで紹介した商品です。) | 3名 |
| おとなのピアノ教本1 (CDなし) | 2名 |
| 記念品 (お楽しみ) | 5名 |

応募方法：官製ハガキにお答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、ご利
用になる楽器店名を明記の上、〒109-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
「株」プリマ楽器ニュース88クイズ係」までお送り下さい。
締切日：8月15日の消印まで、発表は第9号に掲載致します。

ピアノ指導の現場から

◆◆ 今、「実年ピアノ」は充実期 ◆◆

さいたま市を中心に仲間の先生方と「実年ピアノ教室」に取り組んで5年目になります。

現在、受講生総数は150名を数え、皆さん楽しんで継続していらっしゃいます。

これからも私達だから出来る方向を目指して行きたいと考えています。

以下に私達の取り組みをご紹介します。



ピアノ指導者

戸沢睦子とざわむつこ

- その1：月2回のレッスンはグループと個人の混合形態。
それぞれのメリットが生かせ仲間作りにも最適です。
- その2：ピティナ・ピアノステップの導入。
ステップは無理無く参加出来、自己向上出来る仕組みになっています。充実した目標達成感が得られ、日頃のレッスン継続に効果的に作用しています。
- その3：鑑賞教室の導入。
若きアーティストの紹介と交流を兼ねて。
- その4：社会参加型の活動を展開。
演奏発表の場と地域交流を兼ねてのケアハウス訪問演奏。
ボランティア活動もレッスン活性に効果的。
- その5：指導者の育成。
教える側も習う側も縁有って出会った大切なパートナー。
響きあえる仲間は人生の宝です。
- その6：ホールでのコンサート&打ち上げパーティーの実施。
仲間意識が更に広がります。又、マンネリ化に陥らない為工夫が必要です。
- その7：募集告知はマスメディアをフル活用。
広報、各大手新聞、タウン紙、等無料で掲載を利用しています。



(レッスン風景)



(講座風景)

戸沢睦子 (とざわむつこ) プロフィール

熊本大学教育学部音楽科卒。社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)評議員。正会員。ピティナ・ピアノステップ実行委員長、実年音楽教室実行委員会委員。平成4年より、文部科学省生涯学習研究事業として始まった「浦和市実年のためのピアノ教室」で講師を務める。また、横浜にて実年音楽教室講師兼成講座「大人がピアノを楽しむために」を担当。地元大宮では「みんなで楽しく音楽を」の提唱のもと、ピティナ埼玉中央支部の所属会員として、実年教室の開催、キーボードオーケストラ「楽」結成など、音楽普及活動の拠点を拡大。一方、ピティナ・ピアノステップ実行委員長としては、全国のあらゆる世代のピアノ学習者に向けて、生涯学習のための演奏機会(ステージ)の必要性を語り続けて今日に至る。

～連載～ ピアノレッスンの今後

Music Key Lesson レポート

1学期も終わり、この頃になりますとピカピカの1年生(小1、中1、高1)もすっかり学校に慣れてきます。この何ヶ月をあれこれ振り返ってみました。この春中学1年生になったA子ちゃん。心やさしいコツコツタイプです。バスケット部に入りました。5月の連休明けの頃、母親からの電話。「先生、ピアノ辞めます。レッスンの日、塾に行かせる事になりました。テストも近づいてますし、ピアノに通う余裕がありません。」と、まるでテストや部活をご自分がやっているようです。レッスン中でしたので、こちらから改めてお電話しました。(相手が落ち着いて話せる時間を考えます)その時私たちがお話しした事は、ピアノ教室でのA子ちゃんの様子です。決して器用でないA子ちゃん、その分一生懸命努力します。コツコツ積み上げていくことが彼女にとって苦痛ではないのです。なんて素晴らしいことでしょう。少しずつではありますが、着実に曲を仕上げていきます。ピアノを通して彼女は沢山の学習と感動を経験しています。この積み上げてきたものは彼女にとって財産です。それを支え、応援してきたのはご両親の思いやりと愛であることを切々とお話ししました。「そんな大切な彼女の宝物(ピアノ)を取り上げることが出来ますか?」母親の気持ちもぐらついてきています。大きく支配していた中間テストや部活の存在がだんだん小さくなってきているようです。でも「分かりました。主人とも相談してみます。」突然主人が出てきて???こちら「大事なのは、本人がどうしたいか...その気持ちを大切にしてくださいね。」と言って電話を切りました。気になっていましたが、次の週A子ちゃんのレッスンの時間。「お願いしま〜す。お母さんがやりたければ続けてごらんって言ってください。」といつもと変わらない笑顔で入ってきたA子ちゃん。私たちも思わず「やったね!!」硬〜い握手!本人と色々話した所、お母さんが心配するほど彼女自身は気になっていないことが分かりました。つまり回りのお友達も皆やっていることで自分だけが特別大変ではないと思っているのです。今回のようなケースはよくあります。子供は何も感じていなくても、母親の方で先回りして我事のように深刻になって、つい悪い方向に物事を考えてしまうのです。これは我が子を思う愛情の深さゆえに起こることです。今回のことで今まで以上におけいこを大切に感じ、レッスンに通っているA子ちゃんを見て、続けることの大切さ、またそのためにピアノ教師がどう関わっていったらいいのか改めて考える良い機会となりました。

岩瀬洋子・田村智子プロフィール

ミュージックキーピアノスクールを主宰し、生徒や教師を指導。実践的な指導の講座が反響を呼び、全国で展開中。
著作物=オリズムピック・ソーヨひめとファーデスおうじ・せんかんブラザーズ・ケンとパン・ドレミファソラド・5指のテクニック・スケールとアルペジオ・わかるワーク・わかる曲集・ピアノの広場・森の夜明け・ピアノスブラッシュ・カレイドスコープ・アルフレッドピアノ教本・ゴフィンガーズ・みよさかさよみ・パッハインヴェンション分析トラの巻き・ハノン指の筋トレ

ここだけのNEWSなCD

『プレトニョフ/カーネギー・ホール・ライブ』

ミハイル・プレトニョフ(pf)

ユニヴァーサルUCCG-1028

¥3059

諫山 隆美

(いさやまたかよし 音楽評論家)



今や、本業のピアノに加えて指揮者としての活動も注目を浴びる

ミハイル・プレトニョフ。もはやチャイコフスキーコンクール優勝という肩書きなしに一流と目される、注目の中堅アーティストですが、どういふ訳か、昨年11月まではニューヨークのカーネギー・ホールでピアノリサイタルを開いたことがなかったそうです。ようやくニューヨーク・デビューとなった昨年11月のプレトニョフのカーネギー・ホール公演は、早々にチケットは売り切れ、大変な期待に包まれて開催されたのでした。こうした期待は、CDとなって我が国日本でも発売されていますが、その常識を超えた名演は大きな話題を呼んでいます。

プログラムはJ.S.バッハ=ブゾーニのシャコンヌ、ベートーヴェンのソナタ op.111、後半がショパンのスケルツォ全4曲。これらプログラム全曲でどうにかCDに収まりましたが、このあと5曲ものアンコールが残されていました。本格的でピアニストとしての現在をシビラン視点で語ったプログラムのあとは、絢爛豪華なピアノイズムを大いに発揮したヴィルトウオージティなもの。この2種類の演奏のギャップこそプレトニョフの現在であり、演奏家としての彼の巨大なところでありましょう。

さて、このアンコールを捨ててしまうのは忍びない。。。結局、この5曲は全部で20分足らずしかないものの、もう1枚CDを付けて、初回特典のボーナスCDとしています。メインプログラムがいいか、アンコールが好きか、かなり大きく意見が分かれるようですが、どちらも超一級の演奏であることは疑いのない事実です。

実際、この6月に東京とつくばで、このニューヨーク公演そっくりのプログラムによるリサイタルが実現しました。後半のショパンの曲目を少し変更し、アンコールも違った5曲が演奏されましたが、彼の妥協のない徹底した表現とそれを支える彼の音楽体験と自信は見事なものでした。指揮の方はかなりわかりやすいすっきりした特徴をもつものが多いですが、ピアノの方は一ひねりも二ひねりもして、その可能性をどこまでも追求しています。そうしたピアノイズムは、恐らく指揮をしてより一層深いところまで到達したのではないかと感じています。しかし変に熟成することなく、若々しくフレッシュに邁進する彼の演奏は、他にちょっと類を見ない魅力を備えています。